はなみずき
1997 No.16
発　行＝1997年10月25日
和光学園同窓会
東京都町田市真光寺町1291
〒195　☎0427(34)2442
発行人＝西尾栄男

和光学園同窓会誌

十四歳の心象

園長　丸木政臣

久しぶりに私はテレビの画像に魅入っていた。七月二十日夜のNHKスペシャル「十四歳・心の風景」である。六月末の神戸須磨の小学生殺害事件の中学三年の容疑者の「心象」を深く掘りさげたもので、教えられることが多かった。その中で一人の少年の詩が紹介された。題は「やさしさはかたく」である。

「ぼくの心、だんだんかたく／　ぼくのいき方、だんだんかたく／　ぼくの苦しみ、だんだんかたく／　ぼくのせつなさだんだんかたく／　ロボットみたいに／　ひえた鉄のごとく／　好きなことが消えていく／　苦しくなる　苦しくなる　かたくなる／　（略）」

この少年は、自分にも、仲間にも、教師にも、やさしい心で接したいと願っている。ところがいつのまにか心をとざし、自分のうちにとじこもり悩み葛藤するようになる。この番組の中で、中学生というのは受験本位に管理され「学校という檻の中で飼われている動物のようなもの」と語られる箇所があったが、だからこそ「苦しみ、悲しみはだんだんかたく……ひえた鉄のごとく」なっていくのである。たしかにこんどの神戸の事件は異常な側面をもっている。しかし教師や親の多くが類似の事件がどこででも起りうると予感していることも事実である。それは「十四歳・心の風景」が日本じゅうに普遍な思春期の心象風景を描いてみせたことに示される。日本の子どもにとって学習するということは、入学競争に勝つためということだけのものである。ということは他に競り勝つことだけが喜びであり、落ちこぼれたら全く意欲はなくなる。そうなることの不安がいつも子どもの平安をおびやかす。……安らぎ、安心の場所を求めるから、彼らはファッション、ショッピング、バーチュアルリアリティなどの世界にのがれようとする。学校を希望の場にすることが一番大事のように思うが、どうだろう。

中高特別教室棟が完成します

中高校長　森下一期

中学校・高等学校では昨年来、第六期計画の暫定計画として、特別教室棟の建設に取り組んできています。来年度には世田谷の小学校三学級、鶴川小学校も最初の二学級が卒業し、計五学級が中学校に進学します。それに対応し、普通教室を確保する必要が生じました。計画の最初は、既設校舎の改造増設で進めようとしましたが、この校舎が建てられて以降二十年の間に建築基準が一度ならず変更され、特に耐震基準が厳しくなっていましたので、増設には建物全体の耐震工事が必要になり膨大な費用がかかることがわかったわけです。このことから計画を見直し、別途特別教室の充実も課題となっていましたので、別棟を建設し、そこに特別教室を移して既設校舎内に普通教室を確保することとしました。

特別教室の整備では、科学技術教育、家庭科教育、情報教育の充実をめざし、中学校技術科二教室、中学校理科二教室、調理室・被服室、コンピュータ関連二教室を設けることにしました。

従来、調理室は他の教室の約半分の広さしかなく、学級単位での取り組みには大きな困難を抱えていましたが、新設によってこれまでの約三倍の面積にすることができました。

一方、コンピュータ関係の設備は和光はかなり遅れていて、三年前からゼミ室に十台ほどのコンピュータを入れて、高校の選択授業を開設するといった状態でしたが、二教室に約六十台を設置する予定です。生徒が自由に触れることができるシステムをめざしています。この特別教室棟と既設校舎とを鉄橋でつないでいますので裏側の校舎の外観はかなり変化した感じを受けると思います。同時に、既設校舎内も教室の変更、職員室の拡張などの工事を実施しています。特別教室棟は十二月の末には引き渡しを受ける予定ですが、来年の四月に全部が動き始めると思います。卒業生のみなさんにも機会がありましたら是非新しい施設をご覧になって頂きたいと思います。

学園だより

鶴川小学校6学年完成

和光鶴川小学校　園田　洋一

1992年度に和光の第二の小学校として開校した鶴川小学校が今年度6学年がそろい「完成校」となりました。小さな学校からスタートして、小さい学校の利点を生かし「子どもから出発する学校作り」「下からの教育作り」を「学校作りにロマンを」を合い言葉に進めてきました。「通学路整備」「図書室の開館準備」「雑木林の開拓」等開校初年度の父母のみなさんたちを含め、鶴川小学校の学校作りは父母のボランティアなしには考えられませんでした。空き教室が年々子どもたちで埋まっていって全学年完成となった今年は教職員はもちろんこうした父母のみなさんにとっても感慨深いものであると察しています。学校としては完成校記念事業として「校旗・校歌の制作と披露」「完成校記念誌の作成」「学校紹介ビデオの作成」に取り組んでいます。校旗は入学式に6年生の子どもによって披露しました。校歌は丸木先生の作詩、池辺晋一郎さんの作曲でまもなく完成の予

定です。

秋まつりで全校に披露する予定です。親和会でも「完成校を祝う実行委員会」が中心となっていくつかの活動を準備してくださっています。

第47回目の館山

中学校　北出　和平

北条海岸に練習場所を変更して3回目の館山。今年も多くの卒業生コーチのご協力のもと、無事に終了いたしました。実に多くの生徒が3キロ・6キロの遠泳に挑戦し、大自然にもまれひとまわりもふたまわりも成長した感じがします。幸い今年は、プールの時から好天に恵まれ、多くの完泳にもつながりました。

宿舎生活の点で今年は、大きな変化のあった年です。「新釜」や「田村屋」など四～五の宿舎分宿から「夕日海岸ホテル」に一元化して3年を過ごしたわけですが、来年度からの5学級化＝2年間に限り一年生が五学級になり、一九九九年と二〇〇〇年に最大学級数十四学級（現在十二学級）となる＝に備え、「シーサイドホテル」に一ブロック入り、久しぶりの分宿体制となりました。来年度から二〇〇一年までの一～二学級増にも対応できる基盤ができた年ともいえます。それに伴って、卒業生コーチが男女で別宿舎になり不便なことも多々あったかと思います。

宿舎の問題はとりあえずクリアできたわけですが、五学級化に伴い様々に考えなければならないことがあります。三年生の水泳指導員の体制やブロック制のことなどと同時に、卒業生コーチの皆さんにもなお一層のお力添えをお願いしなければなりません。

●高校キャンプでのキャンプファイヤー

97キャンプについて

高校　林　尚子

今年からキャンプは学年行事となりました。教員の引率体制もスリム化し、ふれあいの森キャンプ場には和光用コンテナも置かれ新しいキャンプのスタートとなりました。

特徴としては、登山がなくなってからは、コース別のフリーアクティビティが行われていましたが、今年は8コースの活動をつくり、全生徒が班毎にコースをえらんで、沢登りをしたり登山をしたりして、現地でしか味わえない活動をしました。

これは担当教師も楽しめるものでした。

三日目には学年全体で競技会が行われ、ムカデ競争や丸太切りなどをクラス対抗で行いました。クラスへの応援など、クラスによる個性が見られました。夜は後夜祭。クラスの出しもの、全員によるキャンプファイヤー。火が消えると夜空は満天の星でした。

いろいろ組織的な問題などもありましたが、やりがいのある行事だったと思います。カウンセラーとして参加してくれる卒業生には、今年も多大な支援をしてもらいました。厚く御礼を言いたいと思います。

●各校・秋の大行事

◇和光小学校
「いちょうまつり」　10月10日（金）

◇和光鶴川小学校
「秋まつり」　10月12日（日）

◇中学・高等学校
「文化祭」　11月2日（日）～3日（月）

◇全学園
「創立64周年記念式典と祝賀パーティ」　11月7日（金）　於　和光鶴川小学校

どの行事も卒業生の来訪を歓迎いたします。ご都合のつく方はどうぞご参加ください。

●各校の公開研究会

◇第15回和光小学校公開研究会　11月22日（土）

◇第5回和光鶴川小学校公開研究会　98年2月14日（土）

◇第26回和光中学・高等学校教育研究集会

11月29日（土）

＊参加希望者は事前に各校事務室に電話で申し込んで下さい。

●各校の入試日程

◇和光小学校　11月4日・5日
◇和光鶴川小学校　11月6日・7日
◇和光中学校　2月1日（日）
◇和光高校推薦入試1月22日（木）
◇和光高校一般入試2月10日（火）

●鶴小たのしみ会・プールでカヌーに乗る

OBレポート

「ラグビー祭について」

田村　修一（高18回4組）

7月13日、現役・OB・保護者、それに練習試合を行った八王子高校の選手も招待して、小雨の中、学校の食堂中庭を借りて楽しいひとときを過ごしました。

ラグビー部といえば、和光の部活動の中では伝統だけはあるようで、OBの数も200名以上と思われます。年2回の現役とのOB戦や夏合宿への参加など現役との交流や応援を行っています。

正式なOB会運営とまではいきませんが、イベントごとのカンパ金で何とかやりくりをしています。そんなことから、できるだけ多くのOBを参加させ、現役の夏合宿支援のためのカンパを集めようということで初めての試みですが親睦のバーベキュー会となった訳です。

連絡の不手際や当日の雨もあり集まりは今一つでしたが、ご協力願った保護者や顧問の先生方には感謝しています。結果的にはカンパ金は余り集まらなかったわけですが、イベントそのものは有意義でまたやるべきとの声もあり11月の文化祭OB戦の時に行う予定です。

保護者に参加をお願いしたことはOB会や現役にとってはラグビー部を理解して頂く機会となり良いことだったと思っています。

経堂校舎の狭いグランドを仲間と共にボールを追いかけていたのは大昔のことですが、今でも伝統のピンク色ジャージを着てグランドを走る現役を見ていると心が躍ります。

多くのOBがそんな気持ちで母校のグランドに帰ってくるのではないでしょうか。

これからも自然体でOB会が続けば良いと思っています。

しかし、30年前は昔のことであり今のラグビーを創るのは現役です。

和光ラグビーの伝統は主体性にあり、強くても、弱くても、部員が多くても、少なくても、常に現役が中心になって活動してほしいと願っています。

息子に「ラグビーもいいが勉強をなぜやらない」と叱ると「親父、ジャージの色変えるぞ」と返され「それだけはカンベンしてくれ」となります。自分と同じ9番ジャージを着てグランドを走る息子の姿を見せてくれた和光ラグビーに感謝しています。

ご寄付ありがとうございます

名簿寄付者一覧

（97・9月現在）

回組	氏名（敬称略）
◇小学校	
9	井上久仁子
9	八尾　千生
◇中学校	
19	太田美代子
◇高校	
24—1	荒尾　圭子
28—5	栗田知左子
29—5	道家　美樹
36—5	奥田　美記

幹事会報告

六月十四日、和光中高会議室において一九九七年度第四回和光学園同窓会幹事会総会が開催されました。出席者十二名（委任状一二八名）により話し合われ、一九九六年度事業報告（はなみずき十三号・十四号発行）、会計報告、一九九七年度事業計画（はなみずき十五号・十六号）、会計予算案が了承されました。今回、任期満了による役員改正が行われ承認され、左記の通り決定されました。

会長	西尾栄男（高8回）
副会長	門脇邦介（中11回）
	岸本博子（高22回）
事務局長	須藤友司（高20回）
副事務局長	宮津　剛（高37回）
会計部長	岸本博子（高22回）
広報部長	未　定
書記部長	桑原更子（高23回）
会計監査	田辺幸子（高11回）

この度葛西先生が退職され、同窓会から心ばかりの記念品を贈る事が決まりました。幹事会後、ジュースで懇親会を持ち懐かしい話に花がさきました。昨年も出席して下さった旧い卒業生の方、卒業後初めて学校を訪れてみたという方、来年は皆さんも誘い合って是非参加して下さい。

和光学園同窓会会計決算報告書
1996年4月1日から1997年3月31日まで

〈収入の部〉　（単位：円）

費目	内容	金額
前期繰越金		5,678,032
同窓会入会金	1995年度卒業生	6,044,000
（内訳）	小学校	339,000
	中学校	785,000
	高校	4,920,000
名簿収入		285,110
雑収入	預金利息	4,308
合計		12,011,450

〈支出の部〉

費目	内容	金額
印刷費		6,047,781
（内訳）	第44回卒業生名簿	
	会報はなみずき13.4号	3,913,928
	同窓会名簿（含発送）	2,133,853
	小中同窓会名簿追加分	0
通信費	郵送料・電話料	97,198
諸会議費	交通費・食事代	28,519
事務局費	給与・文具等	638,856
雑費		0
備品	電話機・工事代含む	0
期末未払金	須藤紀子立替分	-7,476
電話加入権	0427-34-2442	0
次期繰越金		5,206,572
合計		12,011,450

繰越金明細書

現金・預金	金額
普通預金（横浜銀行鶴川支店）	381,424
郵便預金（鶴川郵便局本局）	41,470
郵便預金（鶴四郵便局）	0
定期預金（横浜銀行鶴川支店）	4,783,678
定期預金（横浜銀行鶴川支店）	0
現金（事務局）	
合計	5,206,572

一九九六年度　和光学園同窓会会計監査報告

一九九六年度和光学園同窓会会計の決算に関する結果を次の通り報告します。

記

監査日時　一九九七年六月十四日
監査項目　金銭出納帳、領収書綴り、銀行預金通帳、郵便局通知表綴り、収支決算書。
監査結果　帳簿、証憑類の記帳は正確であった。
付則意見　特になし

和光学園同窓会会計監査委員
鳥海　孝一　印

和光学園同窓会会長　殿

和光学園同窓会会計予算書
1997年4月1日から1998年3月31日まで

〈収入の部〉　（単位：円）

費目	内容	金額
前期繰越金		5,206,572
同窓会入会金	1996年度卒業生	5,992,000
（内訳）	小学校	342,000
	中学校	790,000
	高校	4,860,000
名簿収入		300,000
雑収入	預金利息	5,000
合計		11,503,572

〈支出の部〉

費目	内容	金額
印刷費		4,561,000
（内訳）	第45回卒業生名簿	361,000
	会報はなみずき15.6号	4,200,000
通信費	郵送料・電話代	100,000
諸会議費	交通費・食事代	100,000
事務局費	給与・通勤費	700,000
雑費		50,000
前期末未払金		7,476
次期繰越金		5,985,096
合計		11,503,572

繰越金明細書

現金・預金	金額
普通預金（横浜銀行鶴川支店）	201,418
郵便預金（鶴川郵便局本局）	
郵便預金（鶴四郵便局）	0
定期預金（横浜銀行鶴川支店）	5,783,647
定期預金（横浜銀行鶴川支店）	
現金（事務局）	
合計	5,985,096

卒業生名簿　住所不明者一覧　（1997年10月1日現在）

小学校

4回			伊藤登美子
12回	柏組		TAKEO BONMELL
16回			中野　英子
26回	2組		南波　薗子
29回	1組		石塚　誠
	1組		熊川　哲二
30回			新井　知二
35回			上野　恵子
			熊倉　美碧
38回			山田はるみ
39回			泉　健二
42回	1組		山田かおり
43回	1組		笹尾　祐子
48回	1組		伴内　香月
49回	2組		鈴木　暁岳
	2組		田村　恵
54回	2組		岩永　普作
	3組		浅川　大健
55回	3組		杉原　櫻子

中学校

8回			WICHART 美穂
9回			芳武　鉄一
12回			吉崎　勲子
13回			佐々木策子
17回			星野　晴央
18回			根岸吉太郎
21回	2組		佐伯　吉宣
22回	2組		唐木　茂美
23回			佐藤　治夫
24回			武市　直樹
29回	1組		松尾　雅介
	1組		高木知左子
	2組		粟野太一郎
31回	1組		向井　由香
32回	2組		野田　昌宏
33回	1組		周　泰植
	3組		伊藤　順一
	4組		四家　卯大
	4組		宍倉　愁子
35回	1組		植竹　淑子
36回	1組		野上　和伸
37回	3組		玉虫　誠
38回	2組		近藤　一夫
41回	4組		高橋　陽
42回	1組		萩原　篤志
	4組		及川　并
43回	2組		山本　竜也
44回	1組		塚本　良樹
	1組		木村奈緒子
	3組		内田　雄三
	3組		新沢　もも
45回	3組		松浦　政樹
	4組		関本　望武

高校

1回			高沢　慶子
2回			村上　節子
6回			上畠　禮
			向来　和子
10回	1組		布川　慧
	2組		森　章子
11組	2組		石塚　俊一
	2組		小川　高松
	2組		鈴木　忠男
	2組		長村　淳子
	2組		塩田　順子
12回	1組		一条久仁恵
	1組		吉崎智恵子
	2組		清田　洋子
13回	1組		水村　摂子
14回	1組		海道　茂雄
	1組		山辺　千秋
	1組		中川　邦子
	2組		仁藤唯美子
	3組		中村　洋子
	3組		榎本　佳子
15回	2組		菊竹千枝子
	3組		杉本恵美子
	4組		遠藤　真樹
	4組		大薮　和雄
16回	1組		寺内　貞大
	1組		吉川万吏江
	2組		陶山　純一
	2組		石川　潤子
	4組		長岡　徳子
17回	1組		池田　洋子
	2組		上原　実
	2組		対馬ひとみ
	3組		堀川　淳
	4組		今井　健夫
	4組		三科　次郎
18回	1組		錦織　則保
	2組		楠居　智代
	3組		加藤　順一
	3組		林　多美子
	3組		山本　典子
	4組		伊藤　和幸
	4組		岩田　清子
	4組		佐藤　和子
19回	1組		新井　幸雄
	1組		菱沼　史郎
	1組		新井　信子
	2組		石山　聰
	2組		鵜飼小百合
	2組		奥住　清美
	3組		長野　圭治
20回	2組		斉藤　陽一
	3組		島津真由美
21回	1組		中村　正雄
	2組		和田　哲男
22回	1組		内山　剛
	1組		横山菜穂子
	2組		山口　ふゆ
	2組		吉田　伸子
	3組		山脇　正治
23回	1組		高島　俊一
	1組		宮川　孝之
	2組		高橋　勉
	2組		山口　一彦
	2組		富取　真弓
	2組		服部とも子
24回	1組		浦上　誠二
	1組		斉藤久美子
	1組		森定奈保美
	2組		石嶋英一郎
	2組		近藤　典子
	2組		金子　薫
	2組		金　ナエ
	3組		不破あつ子
25回	1組		井田　充昭
	2組		鈴木ひかり
	2組		小松　淑子
	2組		前田　純代
	2組		田中　由美
	3組		大槻　賢司
	3組		岡田　恵和
	3組		岡田めぐみ
	3組		岩窪奈保美
	3組		深沢　順子
	3組		天野　公子
	3組		斉藤実枝子
26回	1組		鬼塚　順
	1組		三浦　創
	1組		松村　伸雄
	3組		鬼頭　永安
	3組		黒川　弘之
	3組		黒坂　哲也
	3組		鈴木　重美
	3組		原沢　一朗
	3組		小林　千枝
	3組		菅田　悦子
27回	1組		伊ヶ崎朋生
	1組		宍倉　剛
	1組		中山　二郎
	1組		野々村健三
	1組		佐武　広美
	1組		田中　エミ
	2組		吉野明聡子
	2組		日下　園美
	3組		古郡　弘子
28回	1組		大島　稜
	1組		槍　美枝
	1組		石川　圭子
	2組		三井　健夫
	2組		手代木モミ
	3組		新井　直満
	3組		加藤　真史
	3組		山田　昌人
	3組		鈴木　紀子
	3組		松沢美和子
	3組		鈴木　繁男
	5組		飯山　勝彦
	5組		松井　康頼
	5組		石田　令子
	6組		田宮　昭彦
	6組		長江　数弘
	6組		岩田　洋子
	6組		宮川久美子
	6組		斉藤　睦
	6組		冷水　絵里
29回	1組		古崎　真
	1組		渡辺　正人
	2組		小川　澄
	2組		保坂　康仁
	2組		馬渡　実花
	2組		安原　久美
	3組		北原　有州
	3組		綾部由紀子
	3組		岩切　智美
	3組		前川久美子
	3組		両角千登勢
	4組		永井　正行
	4組		藤沼　貴文
	4組		勝馬　哲也
	4組		安原　信幸
	4組		鳴瀬　裕子
	4組		沼口　涼子
	5組		伊澤　浩明
	5組		数藤　猛裕
	6組		三浦　恒毅
	6組		浜本　泉
30回	1組		秋間　崇司
	1組		清水　順一
	1組		山根　裕子
	1組		中山　正美
	2組		富沢　亮司
	2組		松崎　永久
	2組		青山江美子
	3組		伊藤　晃生
	3組		山口　由佳
	3組		油井　敦子
	3組		吉野智香子
	3組		新潟谷めぐみ
	3組		鈴木　久恵
	4組		鈴木　洋
	4組		佐藤　純子
	4組		吉田　祐子
	4組		中村　弥佳
	4組		関本ひろみ
	5組		藤沢　重子
	6組		西永　泰士
	6組		酒井　陽子
	6組		FRAGULERゆかり
31回	1組		宇田　樹生
	1組		岩本由加里
	1組		横倉　知子
	2組		関口　弘
	2組		久家　緑
	2組		吉田　美佳
	2組		由井　美穂
	3組		大橋　俊之
	3組		御庭　勲
	3組		渡辺　七波
	3組		平　のぞみ
	4組		岡田　深雪
	5組		藤島　深
	5組		山本じゅん
	5組		真下　里花
	5組		真下　薫
	6組		遠藤　正史
	6組		小澤　純一
	6組		三上　伸子
32回	1組		藤原　克枝
	1組		外木　真弓
	2組		永山　ミト
	4組		岩井　三郎
	4組		末木めぐみ
	4組		大森　美貴
	6組		牧野　薫
33回	1組		田中　竜太
	1組		祐下かおり
	4組		平田　菊美
	5組		川辺　亮
	5組		藤代みゆき
	6組		三角かんな
34回	1組		大友　理紀
	1組		藤川　史
	2組		住吉　啓介
	3組		関根　久美
	3組		高橋貴恵子
	4組		藤井　章平
	4組		安谷屋朗美
	4組		西村真由美
	5組		片岡　由美
	5組		和田　穣子
	6組		佐々木雄平
	6組		山本　直弘
	7組		竹内　譲
	7組		柴田　陽子
	7組		藤井麻里子
	7組		西村美由紀
	7組		嵐　千賀
35回	2組		佐藤　靖仁
	2組		山崎　朝子
	4組		石郷岡三郎
	4組		田中　和広
	5組		田村　研
	5組		杉　恵美
	5組		田村　浩子
	6組		原田　麻理
36回	1組		大江　淳
	2組		鈴木　豪
	2組		石田　道子
	3組		秋川佐和子
	3組		鶴見　紀子
	4組		伊藤　小巻
	5組		栗原　智秋
	5組		笠井　紀子
	6組		礒辺　典哉
	6組		露木千津子
	6組		谷口実紀子
37回	1組		唐木　賢吾
	1組		黒木　学
	1組		小滝　由和
	2組		田中　弘二
	3組		伊藤　千顕
	3組		佐藤みづき
	5組		塩野　勝明
	6組		内藤　良太
	6組		犬飼　恵美
	6組		錦織　章乃
	6組		山本みづほ
38回	1組		宇野　立広
	1組		坂井　豊
	1組		高島　良武
	1組		渡邊　花織
	2組		太田　貴博
	2組		瀬沼　英樹
	3組		松樹　良平
	3組		夏川みかる
	4組		戸田　善康
	4組		上野　佳秀
	5組		小谷　咲子
	5組		高野　佳子
	5組		戸辺　礼子
	6組		安永　崇伸
39回	1組		太田　喜晴
	2組		小野寺　剛
	2組		喜多篠　史
	2組		福崎　玲
	3組		鈴木　知子
	5組		安在　純一
	5組		河野　聰平
	5組		藤村健太郎
	6組		佐藤　雅浩
	6組		横山　卓
40回	2組		小林　昇
	2組		為ヶ井　学
	2組		吉田　洋
	3組		池内　理英
	3組		平福　菜穂
	4組		甲斐　寛子
	5組		竹内　優子
	6組		星野　有樹
	6組		中尾　智香
41回	2組		松岡　祐紀
	3組		古川　和憲
	4組		大渕　貴雄
42回	1組		栗田　聖子
	2組		唐木　崇
	2組		宮澤　公栄
	2組		野上　貴瑛
	3組		片山　直之
	3組		甲斐　慈世
	4組		藤村新次郎
	5組		桂　毅

卒業生進路状況

高校一九九六年度

■96年度卒業生（242名）

◇和光大学進学者　102人

・人間関係学部
　人間関係学科　12人
　人間発達学科　13人
・人文学部
　文学科　23人
　芸術学科　15人
・経済学部
　経済学科　19人
　経営学科　17人

◇他の4年生大学進学者　45人

◇短期大学進学者　10人

◇専修学校進学者　13人

◇就職者　6人

◇留学　2人

◇浪人・未定その他　64人

●他の四年生大学（推薦含む）

・千葉大（文）・筑波大（文）
・東京都立大（理）
・東京農工大（理）・電気通信大
・東京芸術大・青山学院大
・亜細亜大・共立女子大2人
・慶応大2人・恵泉女学園大2人
・白百合女子大・成蹊大3人
・専修大・大正大2人・大東文化大
・中央大・東海大2人・東京家政大
・東京家政学院大・東京経済大
・東京女子大・日本大・日本女子大
・日本文化大・文化女子大
・法政大4人・明星大・立教大
・立正大2人・和光大6人
・早稲田大・桐陰学園横浜大
・東洋英和女学院大2人
・横浜商科大・城西大・文教大
・神田外語大・日本福祉大・北里大
・中央大（理）・東海大（理）
・東京理科大・東邦大・法政大（理）・明星大（理）・鶴見大
・聖マリアンナ医科大・酪農学園大
・多摩美術大・東京音楽大
・桐朋学園大（芸）・日本体育大
・日本大（芸）2人

●短期大学（推薦含む）

・青山学園女子・大妻女子
・共立女子2人・恵泉学園
・駒沢女子・女子美術
・玉川学園女子・帝京・東京女学館
・東横学園女子・文化女子大学
・文京女子・カリタス女子
・東京農業大学
・日本大学短期大学部

●専修・各種学校

・KIDI金沢国際デザイン研究所
・文化学院・淑徳文化専門学校
・ビクターミュージックカレッジ
・日本映画学校2人
・東京福祉商経専門学校
・駿台トラベル&ホテル専門学校
・東京電子専門学校
・町田調理専門学校
・東京教育専門学校
・横浜アートカレッジ
・専門学校日本ホテルスクール

●留学

・CICカナダ国際大学
・American University Ohlone College（USA）

●就職

・㈱アガパン・鯉寿司
・横浜プリンスホテル内「胡弓」
・吉本興業株式会社・辻井商会

■卒業生の進路状況

◇4年生大学　49人（推薦含む）

・横浜国大（文）・岡山大（文）
・岩手大（文）・福井県立大（文）
・東京芸術大・愛知県立芸術大
・青山学院大・桜美林大・大妻女子大・学習院大・実践女子大
・成城大・玉川大・中央大6人
・東海大・東京女子大2人・東洋大
・法政大・武蔵野女子大・明治大
・明治学院大5人・明星大・和光大
・早稲田大・神奈川大3人・関東学院大2人・桐陰学園横浜大
・女子栄養大・東京国際大・明海大
・城西国際大・中央学院大
・立命館大・大谷大・沖縄大
・北里大（理）・帝京大（理）
・東京工科大・東京農業大
・神奈川大（理）3人・東京工芸大
・東京歯科大・松本歯科大
・東北歯科大・帝京科学大2人
・多摩美術大2人・東京造形大3人
・日本大（芸）・武蔵野美術大
・昭和音楽大・洗足学園大
・東邦音楽大・東北芸術工科大

◇短期大学　2人

・青山学院女子・女子美術
・東京農業大学短期大学部
・武蔵野美術大学短期大学部・和泉
・日本大学短期大学部・洗足学園

◇専修・各種学校　7人

・都立松沢看護専門学校
・慈恵看護専門学校
・専門学校東京ビジュアルアーツ2人
・日本児童教育専門学校
・バンタン芸術学院
・日本電子専門学校

クラス会だより

多摩川のバーベキューパーティー

山田　圭子（高12回1組）

ゴールデンウイークは、遠出するのも良いのですが、どこへ行っても混雑することを思うと、近くで何か楽しいことはないかと考えたのがこのバーベキューでした。お天気を心配しながら計画するので、皆に声をかけるのもギリギリになります。初回はどの位の人達が集まって来てくれるだろうかと心配しましたが、三十人位の参加があったので、これからは毎年やろうと考え、昨年は河原が工事中で使えなかったので、できませんでしたが今年は三回目を、五月四日に実施しました。

早朝降っていた雨も、バーベキューの始まる十時頃にはすっかり晴れ暑いほどの日差しでした。メンバーは、和光の卒業生が中心になっていますが、家族連れ、またその友人など、どんな人でも参加してもらうようにしていますので、初対面の人もたくさんいます。

それでも、バーベキューの終わる頃にはすっかり打ちとけて「次回、またお会いしましょう」と言って別れる位になってしまいます。

河原では、若いグループがいくつもバーベキューをしていますが、私たち位の年代は少ないのですが、気分はすっかり若返り、戸外で一日を過ごすのは気持ちの良いものです。

このバーベキューで感じることは、和光で育った人達は、誰とでもすぐ仲良くなれるし、あと片づけだって、和光の教育がこんなところにまで根づいていたと思うほどきちんとします。もちろんゴミは全部持ち帰りますし、私たちのやったあとはきれいな河原に戻っています。

私が「バーベキューをしよう」と言うとすぐに協力してくれる和光の友だちがいることもありがたいことです。今年もバーベキューの準備をしているとき、息子が、「ママはいい友だちがいてうらやましいよ。」と言ったことが心に残りました。

近況・随想

私の近況報告

山田智恵子（高27回3組）

早いものでドイツに住むようになって7年が経ちます。

日本では和光高校卒業後、東京のバレエ団に所属し舞台活動をしていましたが、当時日本では文化、芸術に対する国の援助と理解が乏しく、プロとして生活していくのは大変難しいことでした。それに比べてヨーロッパ、特にドイツでは大きな都市には必ず州立または市立劇場があり、それぞれ専属のバレエ団、オペラとオーケストラを持ち、色々な面で大変充実しています。

20代後半の頃、私はそんなドイツに憧れて、ひとりでドイツの〝劇場縦断〟の旅に出たのが始まりです。

その後色々なプロセスを経て私はハノーバー国立音楽大学で日本にはない舞踊教師資格を得るための舞踊教育学を学ぶことになりました。

ここでは、クラシックバレー、モダンダンス、民族舞踊の毎日の実技と共に舞踊理論と教授法、解剖、生理学、心理学、音楽や歴史、それに子供の教育実習と、もちろん言葉のハンディのある私にとっては大変な道のりでしたが、その反面30才からの大学生活を日本では味わえない環境の中で大いにエンジョイしたように思います。（ちなみにドイツは学生天国でどの大学も学費はかかりませんので、日本より一般に長いこと勉強している人が多いのですが、卒業までのプロセスはかなりきびしいです。）

また私は卒業論文に、〝歌舞伎〟をとりあげ日本の誇る伝統芸術を紹介すると共に西洋の舞踊と演劇とを比較してみました。

今思うと、これは高校時代、近藤先生のご指導で歌舞伎観賞教室に足を運んだことが非常に役立ったと思います。こちらの友達の大きな助けも得、私のドイツ語の卒論は最優の評価をいただくことができました。そして4年間の全課程を終え95年にディプロマを手得しました。

生活面では大きな一軒家でドイツ人7人との共同暮しを数年間体験しましたが、個性が強く、自分の意見をはっきり示し、何でも話し合いで決めるドイツ人達の中で私が対等にやっていけたのは、和光時代に培った集団主義的教育の精神が生かされ

たものと思っています。

今はまたフラメンコに魅せられ、スペインまで足をのばしてレッスンを受けたりすることもあります。

私の場合常に踊ることを通して色々な人生体験を積んでいるのかもしれません。

ドイツも東西統一後の経済は低迷を続け、失業者は年毎に増え、人々の生活は厳しさを増していますが、私はもう暫くこちらで生活してみようと思っています。

ケンブリッジから

関井　隆（中29回2組）
関井　りあ（旧姓　片岡）
（高28回5組）

私達二人が日本を離れ、ケンブリッジの地にやって来たのはもう7年前のことになります。博士課程（天文学）を終えたばかりの隆が、ケンブリッジ大学に職を得たためで、隆にとっては幼児の2年間を過ごした懐かしい国であり、りあにとっては一度住んで見たい国であったイギリスで、私達は結婚3年目の生活を始めることになったのでした。

移り住んで間もないうちに、世間では「鉄の女」サッチャー首相の解任、湾岸戦争の勃発などが立て続けに起きて、短かった様でもこの7年の間には色々な事がありました。湾岸戦争と言えば、日本が遂に派兵を行なわなかったことで、「派兵国在住の日本人に風当たりが強い」と報道されたことがあったらしく（ケンブリッジではそんなことはありませんでしたが）、この時に日本から「大丈夫か」とわざわざ心配の電話を掛けてくれた時田学君（同級）も、もうこの世の人ではなくなってしまいました。

私生活では、3年前に長女の遙が誕生したのが最大の事件でしょうか。イギリスでは、出産も子育ても夫婦の共同作業と云う認識が日本以上に強いので、出産には当然の如く隆も「参加」しました。夫の育児休暇は必ずしも広く制度化されている訳ではないのですが、出産の直前、研究グループの教授（自身が4人の子持ち）は隆に向かって「研究の方は心配しなくていいよ……と言うより（ニヤリ）、暫くの間は会いたくないから来るな！」と言ったものです。実際に隆がフルに休んだのは週末も含めて10日程でしたが、お陰で子育ても、夫婦の共同作業としてスタートを切ったのでした。

日本との関係が緊密なアメリカと違って、新聞にも日本のことは余り出ませんし、移り住んだ当初は日本の情報が仲々入って来ませんでしたが、最近はインターネットの普及も進んで、日本の新聞各紙も「電子版」で読める様になりました。また、ほんの数年前まではほとんど研究者や、コンピュータ関係の技術者しか使っていなかった電子メールも使える人が増えて、元同級生の中でも川鍋淳君や和田聡君等とは、ほぼ瞬時の手紙のやりとりが出来ます。先日は和田君の所の頌子ちゃん（5歳）からうちの遙（3歳）宛に、「幼稚園楽しいよ」と電子メールが届いています。時代が進むにつれ、また世代が替わるにつれ、地球がどんどん小さくなって行くのを感じます。

Music

◆ヘンデル作曲「メサイヤ」全曲
ソプラノ　村谷祥子
（高34回7組）
・12月20日（土）
午後6：00～　奥沢教会

◆「バロック音楽の夕べ」
ソプラノ　村谷祥子
ビオラダガンバ　矢口麻衣
テオルボ　下山恭正
・98年2月21日（土）
午後7：00～
同仁キリスト教会
・連絡先　加藤祥子（旧姓村谷）
☎044－900－8240

和光中・高を卒業した後、東京芸術大学大学院を終了し、ソプラノ歌手として主にバロック音楽方面で活躍しています。

Arts

◆「殺し屋、リィ。」
ビデオレンタル取扱中
水科哲也（高39回1組）さん

が製作担当

水科さんは日本大学芸術学部映画学科を一昨年卒業。この作品は「第一回インディーズムービー・フェスティバル」というコンテストの最終選考を通過し全国の主要ビデオレンタル店に並べられています。作品に関するご意見、ご感想を受け付けているとのことです。

・連絡先　水科哲也
〒154　東京都世田谷区上馬2−27−18−301
☎・FAX　03−5481−8223

BOOKS

◆『あの「青空」をふたたび』
——教育基本法のこころ——
・丸木政臣　著
・岩波書店　四〇〇円
（岩波ブックレットNo.430）

戦後教育の"青空の時代"——それは教育基本法の精神が生き生きと輝いた時期でした。現在の教育に"青空"をとりもどすために、多くの人たちと読みたい本です。

◆「おもちゃのいいわけ」
・舟越　桂　（高18回4組）
・すえもりブックス　二五〇〇円

子供達に作ったおもちゃの写真と各々のおもちゃを通して家族への思いがつづられた本。

出版はお姉さんの末盛千枝子（高7回1組）さんです。

・（連）すえもりブックス
☎03−3467−3290

◆「Z級食べ物ラベル図鑑」
洋泉社　一六〇〇円

◆「戦時広告図鑑」
WAVE出版　一七〇〇円

◆「納豆大全」
小学館　一五七五円

・いずれも町田　忍　著

町田忍（高17回1組）さんは、和光高校卒、和光大学芸術学科卒、造形作家。次々に出されている町田さんの本は、新聞などでも多数紹介されているので目にされた方も多いのではないでしょうか。納豆のラベル、甘栗の袋、バターの箱、etc。30年にわたって集めた品々が掲載されています。そこから見えてくるものは何か！（Z級食べ物ラベル図鑑）それにしてもこういうものをよくとっておいたものだと感心させられました。

同窓生のお店

◆陽気館山中湖倶楽部
（クラブハウス）

・グループによるレンタル方式の宿泊施設です。
・伊藤　義昭（高10回1組）
・山梨県南都留郡山中湖村山中248−1
☎0555（62）1315

山中湖畔の美しい自然に溶けこむ、おとぎ話に出て来る様なチューダー様式の建物。そんなクラブハウスで気の合う仲間と過ごしませんか。

はなみずき通信

・秋には、学園で文化祭を始め種々の行事があります。卒業生のみなさん、そんな折に一度足を運んでみてはいかがでしょうか。
・現在"はなみずき"の編集は、丸山加寿恵（高14回3組）、北原加枝子（高31回1組）、高橋佳代子（高27回1組）が中心になってしています。クラス会の報告や近況の原稿その他の情報を是非お寄せ下さい。
・町田忍さん（高7回1組）が著書「Z級食べ物ラベル図鑑」を送って下さいました。ありがとうございました。
・はなみずき15号で紹介した「竹廣泰介個展」こちらの手違いで古い情報を載せてしまったことお詫び申し上げます。
・住所変更、訂正の連絡やご寄付の際は、卒業年度（何回何組もしくは何年）旧姓、卒業次の担任の名前なども添えて下さい。（せっかくお知らせいただいても、判名できなかったり、混乱することがあるので）

〔連絡先〕〒195
町田市真光寺町一二九一
和光学園同窓会
事務局　須藤紀子
☎0427（34）2442
（FAX兼用）